



みんなで創る、
未来につながる、
暮らしやすい箕輪町

人口減少時代への挑戦 “箕輪チャレンジ”

箕輪町第5次振興計画
【2016-2025】

はじめに

● 箕輪町民憲章

昭和 60 年 7 月 1 日制定

わたくしたちの箕輪町は、歴史の古い^{ふきはら}路原の里にあり、美しい自然にはぐくまれ、先人の努力によって築かれた輝かしい郷土です。

わたくしたちは、このまちの住民であることに誇りをもち、さらにあすに向かって、創造性豊かなすばらしいまちにすることを願って、町民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、空と水と緑のきれいなまちをつくります。
- 1 健康で明るい家庭を築き、おもいやりのある幸せなまちをつくります。
- 1 働くよろこびをもち、産業の豊かな活力あるまちをつくります。
- 1 教養を高め、スポーツに親しみ、うるおいのあるまちをつくります。
- 1 きまりを守り、平和で住みよいまちをつくります。



● 町長あいさつ

一人ひとりが主役のまちづくり

箕輪町長
白鳥政徳



私たちの町は、恵まれた地形と気候風土、美しく豊かな自然や田園風景、先人たちによって守り育てられた歴史や文化など、将来に引き継ぐべき多彩な魅力が溢れています。

第4次振興計画の策定から11年、この間、県内町村では最も多い人口を有し、町民の皆様との協働のまちづくりを推進し、安全・安心なまちづくり、教育、子育て、健康推進や福祉などの分野で先駆的、先進的な取組みを行ってきました。

しかし、私たちの町は今、人口減少・少子高齢化による社会経済情勢の変化によって、大きな転換期を迎え、新たな変化が求められています。人口の減少により、これまでの社会制度の維持が困難となり、行政サービスの低下ということすら考えられます。こうした中、私たちの町の資源や強みを活かしつつ、危機感を持って新しい時代にふさわしい力強い箕輪町を築いていかなければなりません。

そのためには、町の目指す将来像を明らかにし、町民の皆様と課題や目標を共有しながら、知恵や力を結集して計画的にまちづくりを進めていくことが何より重要です。

計画の策定に当たっては、62人の皆様で構成した「みのわ未来委員会」で熱心にご協議をいただいたほか、町議会、まちづくり地区懇談会、関係団体、町民の皆様から貴重なご意見、ご提言をいただきました。

新しい計画では、「みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町」の実現を目指して、町民の皆様が心をつなげて人口減少時代に挑戦する“箕輪チャレンジ”に取り組みます。

出来上がった計画書は町民の皆様のものであります。町民の皆様、一人ひとりが主役となって、未来につながる、暮らしやすい箕輪町をみんなで一緒に創っていきましょう。

● 箕輪町章

昭和 34 年 11 月 3 日制定



〔町章の意味するもの〕
町名「箕輪」を率直に図案化し、
この町の豊かさと平和を象徴している。

● 町の木・花・鳥

町の木 (昭和 60 年 7 月 1 日制定)



けやき

(制定の理由)

古来から町内の平坦地一帯に多く、木の姿から櫛と書かれるように、大地にしっかりと根を張り、高く広く空に向って伸び、大樹となる。樹齢数百年から千年に及んでも樹勢がさかんで、町内には長野県の天然記念物に指定された芝宮のけやき等の古木があり、町の将来を象徴するのにふさわしい。

町の花 (昭和 60 年 7 月 1 日制定)



いわやまつつじ

(学名/ミツバツツジ/トウゴクミツバツツジ/)

(制定の理由)

春早く、木々が芽ぶきはじめる頃、町内の山地に株をなして、鮮やかな紫色の花を咲かせる落葉低木で、高さは 2m から 4m に達する。一般に、いわやまつつじと呼ばれ、樹齢数百年に達するものもある。風雪にたえて岩間に咲く姿には、美しさと生命力の強さを感じさせる。

町の鳥 (平成 12 年 11 月 15 日制定)



キセキレイ

(制定の理由)

天竜川や町内に流れる多くの河川、水田地帯、溪流など平地から高山に至るまで広く棲息し町内でも身近に見られ、この地方では水神鳥と呼ばれ古くから親しまれて来た鳥である。

その姿は尾が長く頭から背にかけて青灰色、腹面及び腰は黄色、頬に白い眉斑があり翼を広げると白い帯模様が出てスマートである。

豊かな自然に恵まれた水辺の環境で棲息し、優雅で気品のある姿は、空と水と緑のきれいな町にふさわしい。

● 箕輪町の歌

昭和 40 年 4 月 5 日制定

藤沢 古実 作詞

平井康三郎 作曲

1 明け渡る 伊那の国原くにはら
 輝やける 四方の山脈よも やまなみ
 天竜川は 滔滔ととうとう
 流るところ わが箕輪
 うるわしき この故郷ふるさとや
 恵み思わん 明け暮れに

2 路原ふきはらや 箕輪遺跡いせきや
 王墓の 遠き歴史よ
 豊かに稔る 穀倉こくぐらと
 ひら だいち 拓きし大地 箕輪郷ごう
 みおや いのち 祖先らの 命受けつぎ
 勤め励まん もろともに

3 ものつくる 機械のひびき
 盛り上がる 若き力よ
 かいなを組み てるぎなき
 理想は高し 箕輪町
 新らしき 文化を育て
 あす 明日を築かん とこしえに
 いざやたたえん 栄えゆく
 箕輪 箕輪 我等の箕輪

たくましく ♩ = 108



(一) あ け わ た る い な の く に は ら - か -
 (二) ふ き は た る む の わ い せ き や - お -
 (三) も の つ く る き か い の ひ び き - も -



が や け る - よ も の や ま な み
 お は か の - と も の れ き か
 り あ が る - わ お き ち か ら よ



て ん り ゅ う が わ は と う と う と な が る と こ ろ
 ゆ た か に み の る と こ く ら と ひ ら き し だ い ち
 か い な を く み て ゆ る ぎ な き り そ う は た か し



わ が み の わ う る わ し き こ の ふ る さ と や
 み の わ ご う み お や ら し い の ち う け つ ぎ
 み の わ ま ち あ た ら し き ぶ ん か を そ だ て



め - ぐ み お も わ ん あ け - く れ に
 つ - と め は げ ま ん あ る - と も に
 あ - す を き ず か ん と こ - し え



(三) に い ざ や た た え ん さ か え - ゆ く - み の



わ み の わ - わ れ ら の み の わ

はじめに

箕輪町民憲章	
町長あいさつ	
箕輪町章	
町の木・花・鳥	
箕輪町の歌	

第5次振興計画

第1部 第5次振興計画の策定にあたって

1 計画策定の意義.....	3
2 計画の構成と期間.....	5
3 取り巻く社会動向から箕輪町が抱える課題.....	7
4 これまでに築き上げた箕輪町の魅力.....	14
5 策定方法.....	18

第2部 基本構想

1 箕輪町の将来像.....	23
2 人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”.....	24
3 施策体系.....	45

第3部 基本計画

第1章 人の ^わ Wa!が輝くまち.....	49
第2章 支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち.....	61
第3章 「家族になろう」といえるまち.....	69
第4章 産業が輝き、働く場所に恵まれたまち.....	75
第5章 住みやすい都市基盤をみんなで作るまち.....	83
第6章 学び合い、共に育てるふるさとのまち.....	91
参考資料 主要統計データ.....	98

第4部 計画の実現に向けて

1 フォローアップ（検証）.....	103
2 進捗管理.....	105
3 見直し.....	106

第5部 区の将来像

1 策定の経緯.....	109
2 区の将来像.....	111
・ 沢区.....	112
・ 大出区.....	114
・ 八乙女区.....	116
・ 下古田区.....	118
・ 上古田区.....	120
・ 中原区.....	122
・ 松島区.....	124
・ 木下区.....	126
・ 富田区.....	128
・ 中曽根区.....	130
・ 三日町区.....	132
・ 福与区.....	134
・ 長岡区.....	136
・ 南小河内区.....	138
・ 北小河内区.....	140
3 区と町の連携について.....	142

巻末資料

議案「箕輪町第5次振興計画の策定について」.....	144
箕輪町協働のまちづくり基本条例.....	145
箕輪町みのわ未来委員会条例.....	146
みのわ未来委員会委員名簿.....	147
箕輪町第5次振興計画策定経過.....	151
みのわ未来委員会提言.....	152